



Your dreams. Woven together.

# 2011年6月期 第2四半期決算説明

---

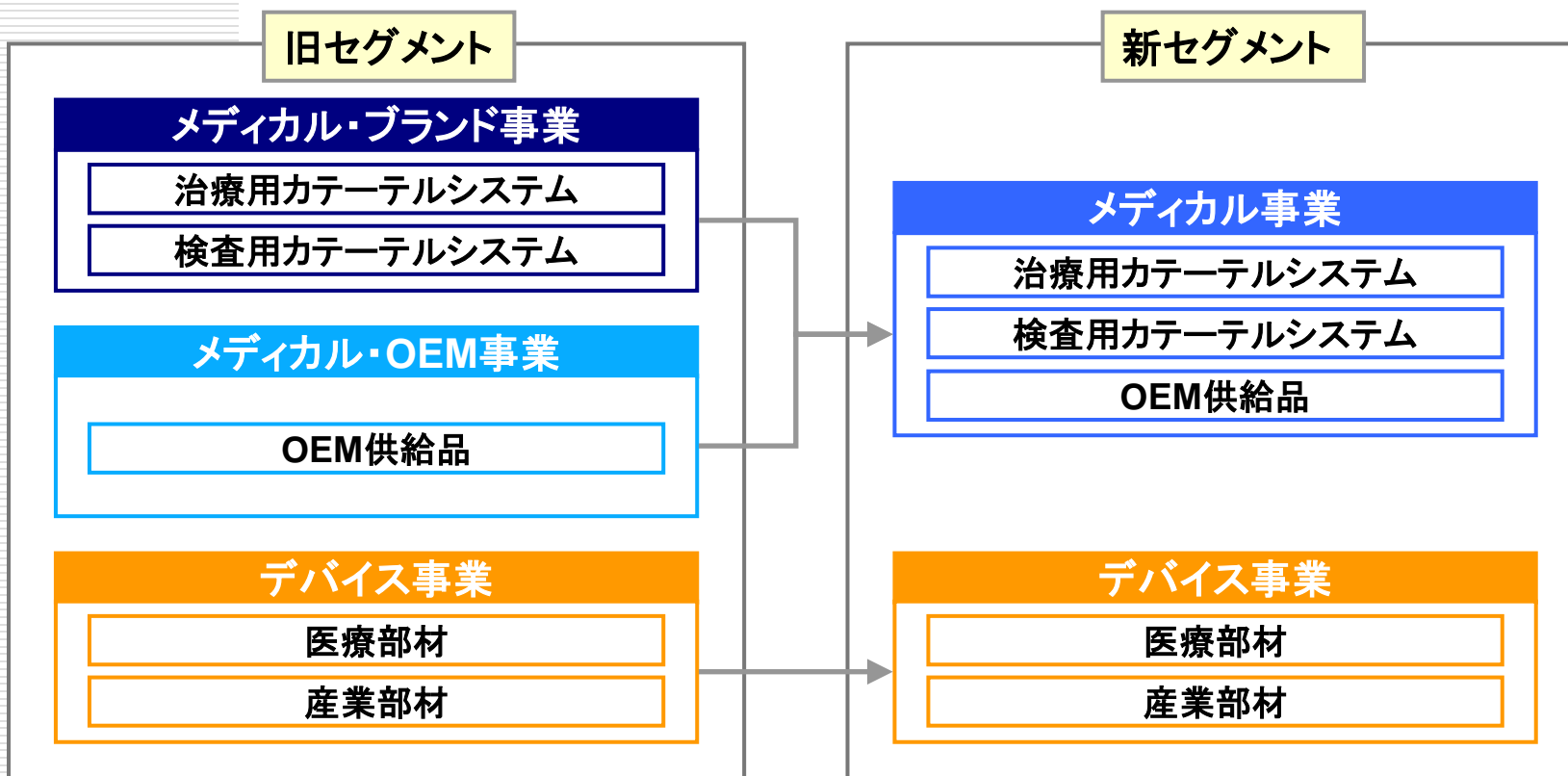
2011年2月10日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



# 事業 セグメントの変更について-1

- 組織形態の変更等に伴い、2011年6月期より下記のセグメント区分に変更致しております。



- 以下資料上における留意事項
  - セグメント別の前年同期比較にあたっては、前期数値を変更後の区分に組み替え表記しております。

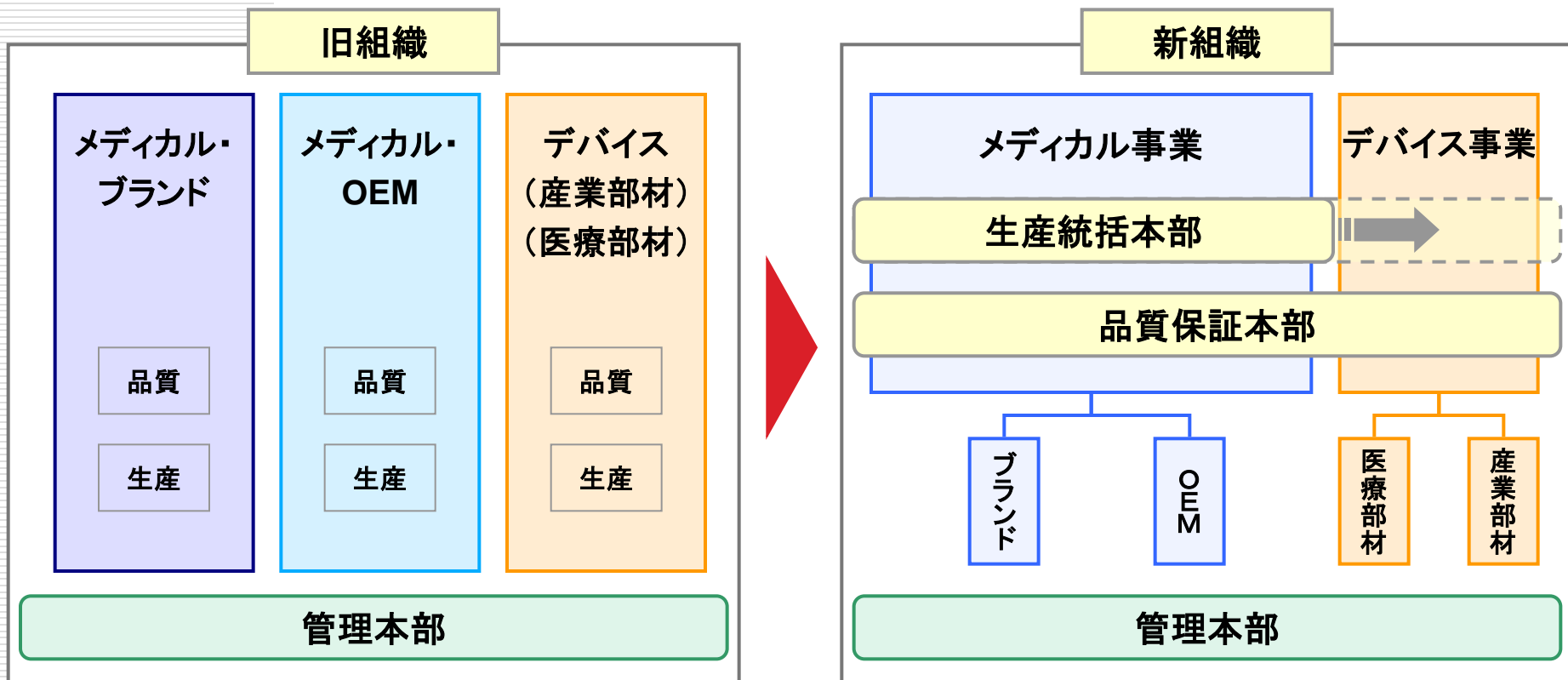


# 事業 セグメントの変更について-2

(要因: マトリックス組織形態への移行)

## ■ 組織変更の内容と目的

- 横断的組織として、「生産統括本部」及び「品質保証本部」を設立
- マトリックス組織への移行をはかることにより、開発・生産・品質・販売の役割を明確化し、製品開発のスピードの向上、生産性の向上を目指す





## 2011年6月期(上期)決算のポイント(連結)

### ■ 売上高は7,930百万円(前年同期比+7.0%)と堅調に推移

#### □ 増収分野:医療機器分野 減収分野:産業機器分野

- ▶ 医療機器分野は主に自社ブランド製品が国内・海外共に好調に推移し増収
- ▶ 数量の増加により、円高ドル安の為替影響(△266百万円)や、医療償還価格下落に伴う国内売価下落によるマイナス影響(△331百万円)をカバー

### ■ 円高ドル安影響・償還価格下落などの逆風あるも営業利益は増収を確保

#### □ 営業利益は1,809百万円(前年同期比 +9.8%)

- ▶ 研究開発費用(840百万円)の増加(前期比費用増加+284百万円、売上高比率10.6%)
- ▶ 朝日インテック・ジーマ連結子会社化(2010年1月～)により販管費が増加(前期比費用増加+99百万円)
- ▶ 円高為替についてタイパーツに比べてドルの動きが強く営業利益にマイナス影響あり(前期比営業利益△240百万円)
- ▶ (参考:組織変更に伴う売上原価から販管費への費用区分変更による影響額は約351百万円)

#### □ 経常利益は1,714百万円(前年同期比+9.8%)

- ▶ 営業外費用に円高の影響による為替差損125百万円を計上(前期比+39百万円)

#### □ 四半期純利益は1,306百万円(前年同期比+29.8%)

- ▶ 特別損失:資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 30百万円を計上
- ▶ 前期は特別損失に前期損益修正損(在庫関係)76百万円を計上



## 決算ハイライト(連結)

	2010年6月期 上期実績		2011年6月期 上期実績					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2010/8/10	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		期初計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	7,409	100.0	7,887	7,930	100.0	+520	+7.0	+0.5
売上総利益	4,178	56.4	5,094	* 5,224	65.9	+1,045	+25.0	+2.6
営業利益	1,647	22.2	1,540	1,809	22.8	+161	+9.8	+17.5
経常利益	1,561	21.1	1,521	1,714	21.6	+152	+9.8	+12.6
(四半期) 純利益	1,006	13.6	1,048	1,306	16.5	+299	+29.8	+24.6
EPS	63.48円	-	66.11円	82.41円	-	-	-	-

\* 当期から、組織変更に伴い、売上原価から販管費への費用区分変更を行っております。今期上期に与える影響は約351百万円となります。当初、通期にて約800百万円の影響を見込んでおりましたが、その影響額は700百万円となる予定です。



## セグメント別売上高

	2010年6月期 上期実績		2011年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	6,022	81.3	6,346	80.0	+323	+5.4
デバイス事業	1,386	18.7	1,584	20.0	+197	+14.2
合計	7,409	100.0	7,930	100.0	+520	+7.0

(参考)

医療機器分野	6,458	87.2	7,067	89.1	+608	+9.4
産業機器分野	950	12.8	863	10.9	△87	△9.2



## セグメント別営業利益

	2010年6月期 上期実績		2011年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	2,037	88.0	1,940	79.4	△97	* △4.8
デバイス事業	279	12.0	504	20.6	+225	+80.7
計	2,316	100.0	2,444	100.0	+127	+5.5
消去・全社	△669	-	△635	-	-	-
合計	1,647	-	1,809	-	+161	+9.8

\* 当社グループでは、メディカル事業の一部の製品に対する部材供給(下請)をデバイス事業が行っており、よってメディカル事業の外部売上高に対応する利益の一部は、デバイス事業に計上されることとなります。  
 メディカル事業の営業利益は前年同期比にて減少と表示されておりますが、デバイス事業に計上されている当該利益は前年同期に比べて増加傾向にあり、よってその影響を考慮すると、営業利益においても増益となっております。



## セグメント別営業利益(一部調整後)

	2010年6月期 上期実績		2011年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	1,988	87.9	1,940	79.4	△48	△2.4
デバイス事業	273	12.1	504	20.6	+230	+84.3
計	2,262	100.0	2,444	100.0	+182	+8.1
消去・全社	△614	-	△635	-	-	-
合計	1,647	-	1,809	-	+161	+9.8

\* : 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって前期 上期の実績について11/6期基準に変更して表記しております。上記では、前年度数値について調整後の営業利益を表記しておりますので、ご留意下さい。





## セグメント別の収益状況（一部調整後）

(百万円)

【売上高】

9,000

8,000

7,000

6,000

5,000

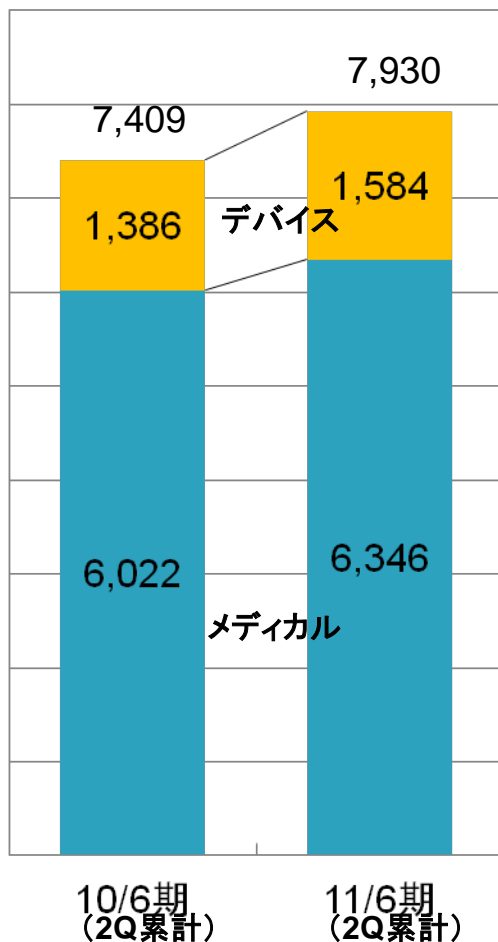
4,000

3,000

2,000

1,000

0



(百万円)

【営業利益】

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

-500

-1,000

調整後

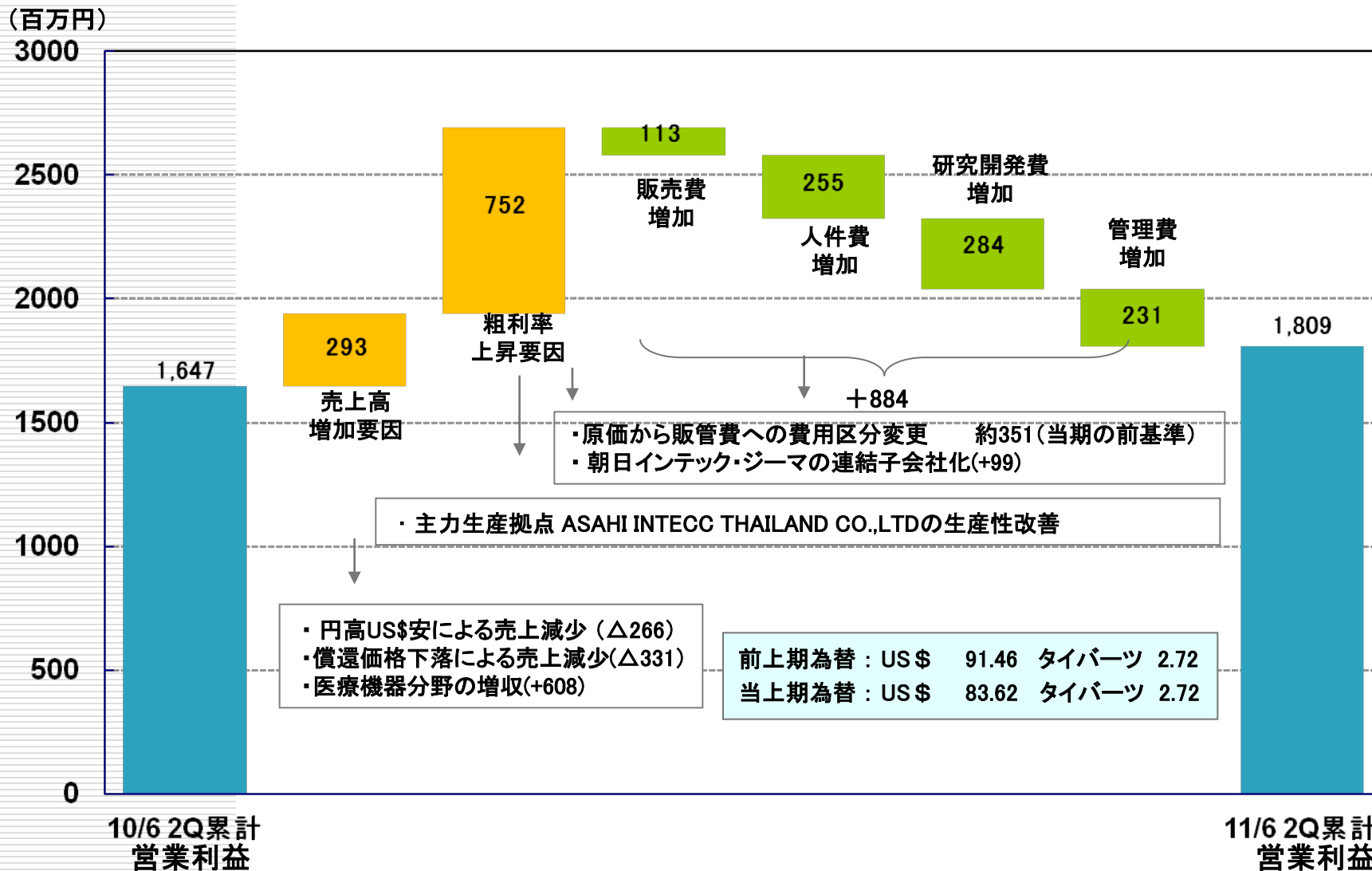


\* 10/6期 (2Q累計) 調整後

\*: 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって10/6期実績について11/6期基準に変更して表記しております。

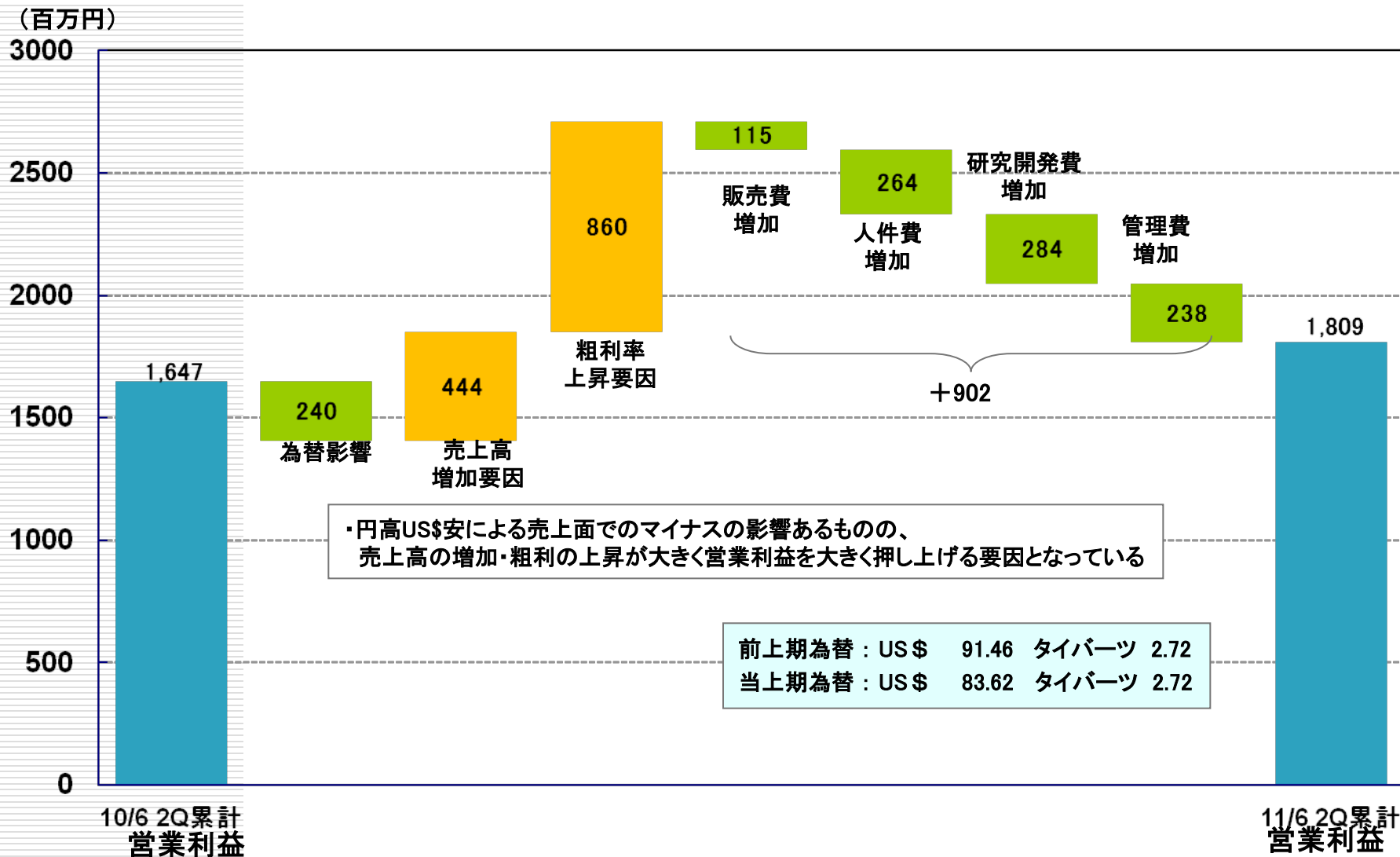


# 営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)



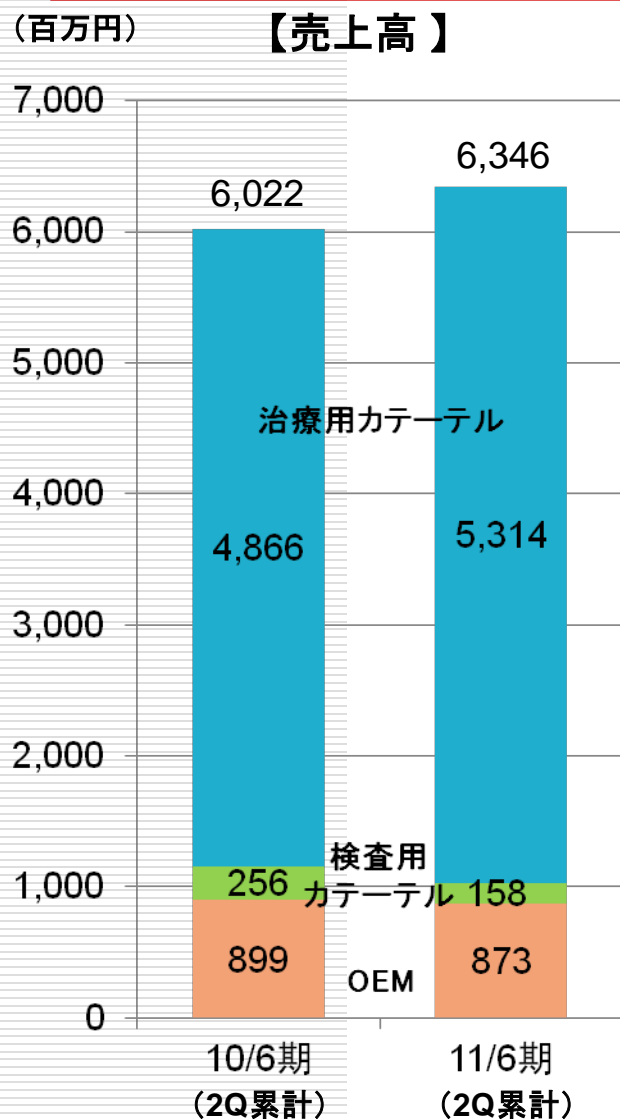


## 営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)





## メディカル事業の状況



### ■ 国内・海外共に順調に推移

- 売上高6,346百万円(前年同期比+323百万円、同+5.4%)
- 営業利益1,940百万円(調整後前年同期比△48百万円、同△2.4%)
- 償還価格下落の影響(△331百万円)及び円高ドル安の影響(△213百万円)を受けるも好調に推移

### ■ 治療用カテーテル製品

- 5,314百万円(前年同期比+448百万円、同+9.2%)
- PTCAガイドワイヤーは国内増加・海外減少
- 国内:循環器系を中心に幅広い患部領域の製品が好調
  - ▶ 償還価格のマイナス影響を払拭し売上好調
  - ▶ 貫通カテーテルCorsairは前下半期から販売開始により好調に推移
  - ▶ 末梢血管系・脳血管系など循環器系以外の領域好調に推移
- 海外:円高ドル安の影響あるものの増加
  - ▶ 中国向けは為替影響を払拭し売上好調

### ■ 検査用カテーテル製品

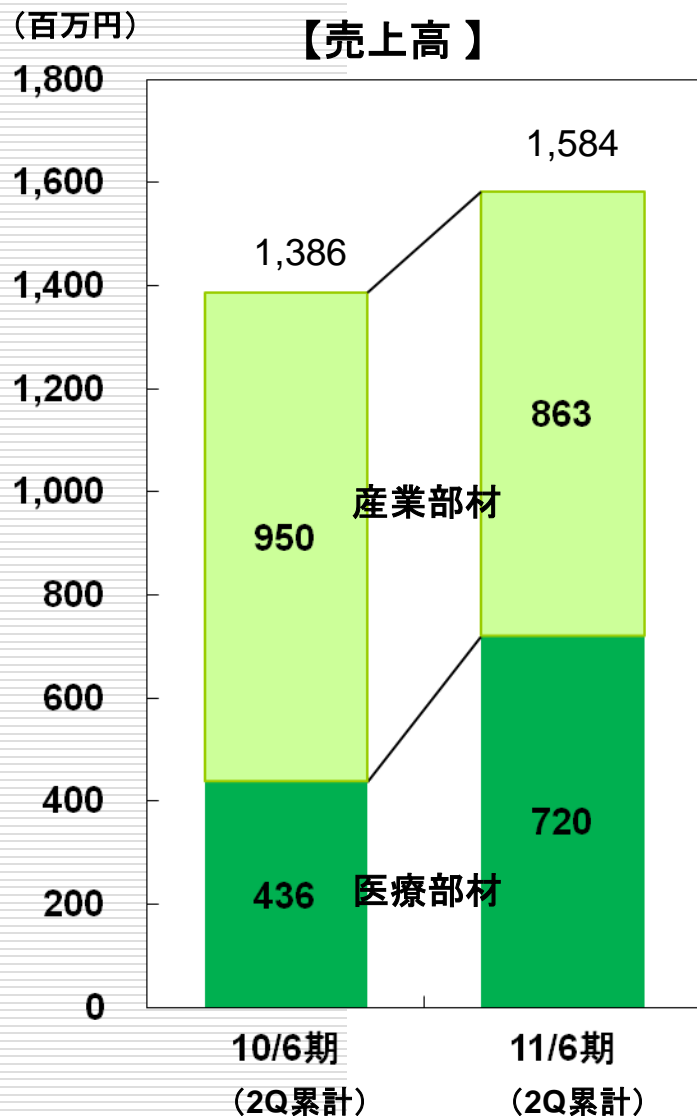
- 158百万円(前年同期比△98百万円、同△38.4%)
- 海外向け検査用カテーテルは方針により縮小傾向

### ■ OEM供給品

- 873百万円(前年同期比△26百万円、同△2.9%)
- 国内向け製品は増加するものの、海外向け末梢血管系製品が減少



## デバイス事業の状況



- 医療機器分野を中心に増加傾向
- 産業機器分野は高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力
  - 売上高1,584百万円(前年同期比+197百万円、同+14.2%)
  - 営業利益504百万円(調整後同+230百万円、同+84.3%)
  - 円高ドル安の影響(△53百万円)を受けるも好調に推移

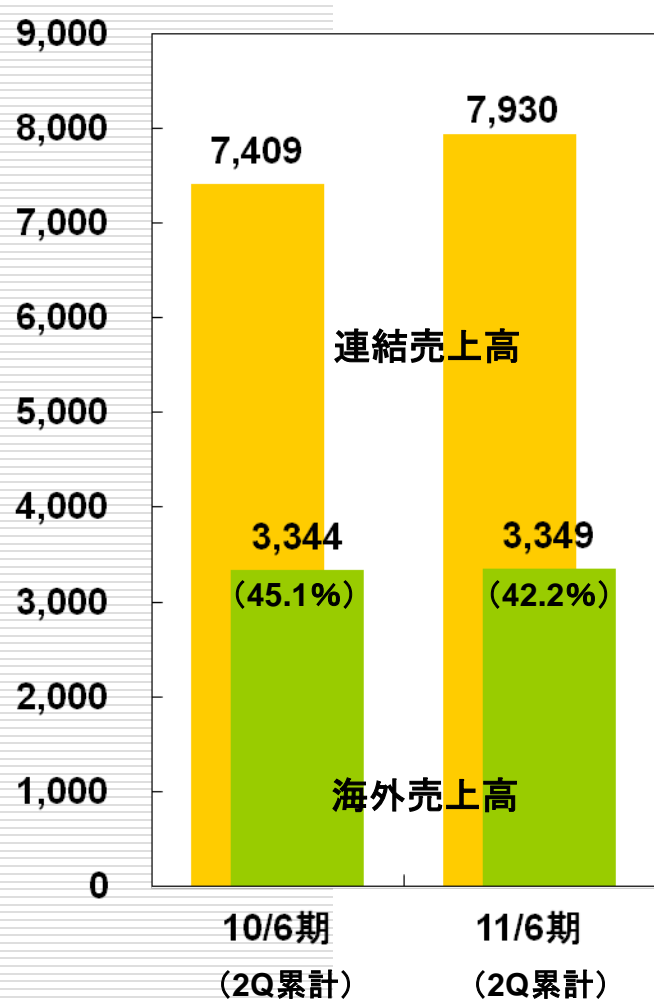
- 産業部材
  - 863百万円(前年同期比△87百万円、同△9.2%)
  - 海外向けベビーカー用部材や家電エアコン用ロープ、国内向け環境対応車への部材供給が増加
  - 一方、海外向けOA機器製品、国内向け釣糸が減少

- 医療部材
  - 720百万円(前年同期比+284百万円、同+65.3%)
  - 10/1月ジーマ社の連結子会社化による増加 +246百万円
  - 米国向け耳鼻咽喉科関係や腹部治療用医療部材取引が増加



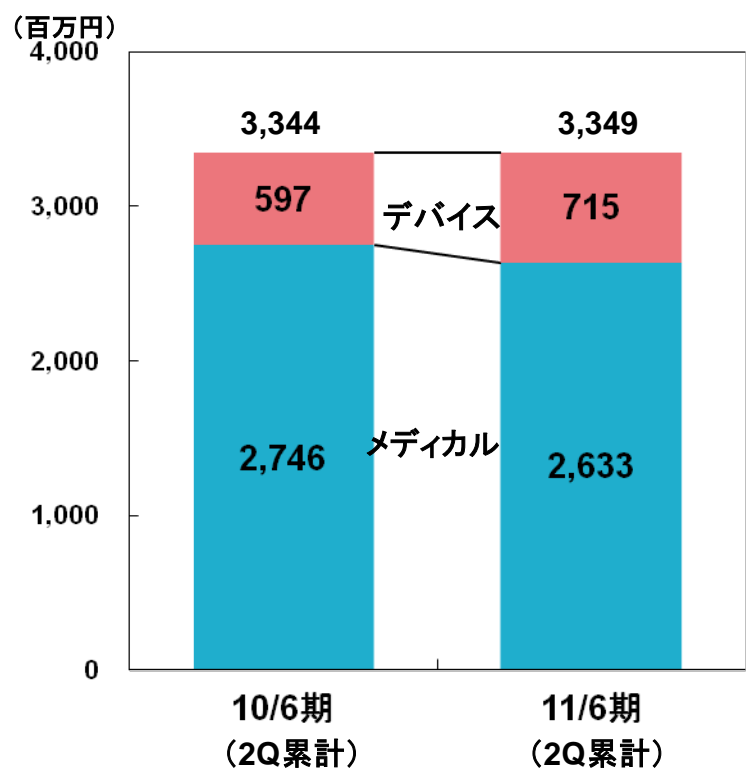
# 海外売上高の状況

【海外売上高の推移】



- 海外売上高は+4百万円(前年同期比+0.1%)
  - ▶ 円高ドル安による売上高減少の影響 △266百万円
  - ▶ 為替影響を除いては順調に推移
  - ▶ メディカル事業では特にアジア向けが好調に推移

【セグメント別海外売上高】





## 損益の状況(連結)

	2010年6月期 上期実績		2011年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	7,409	100.0	7,930	100.0	+520	医療機器分野の増収
売上原価	3,230	43.6	2,705	34.1	△524	一部販管費への移動あり 約△351
売上総利益	4,178	56.4	5,224	65.9	+1,045	稼働率上昇に伴う生産性向上
販管費	2,531	34.2	3,415	43.1	+884	研究開発費用の増加 +284 売上原価からの移動 約+351
営業利益	1,647	22.2	1,809	22.8	+161	
営業外収益	42	0.6	64	0.8	+22	作業屑売却益 +14
営業外費用	128	1.7	160	2.0	+31	円高影響による為替差損 +39
経常利益	1,561	21.1	1,714	21.6	+152	
特別利益	8	0.1	0	0.0	△8	貸倒引当金戻入金 △8
特別損失	120	1.6	37	0.5	△83	投資有価証券評価損 △44 前期損益修正損失 △76 資産除去債務会計適用 +30
四半期純利益	1,006	13.6	1,306	16.5	+299	



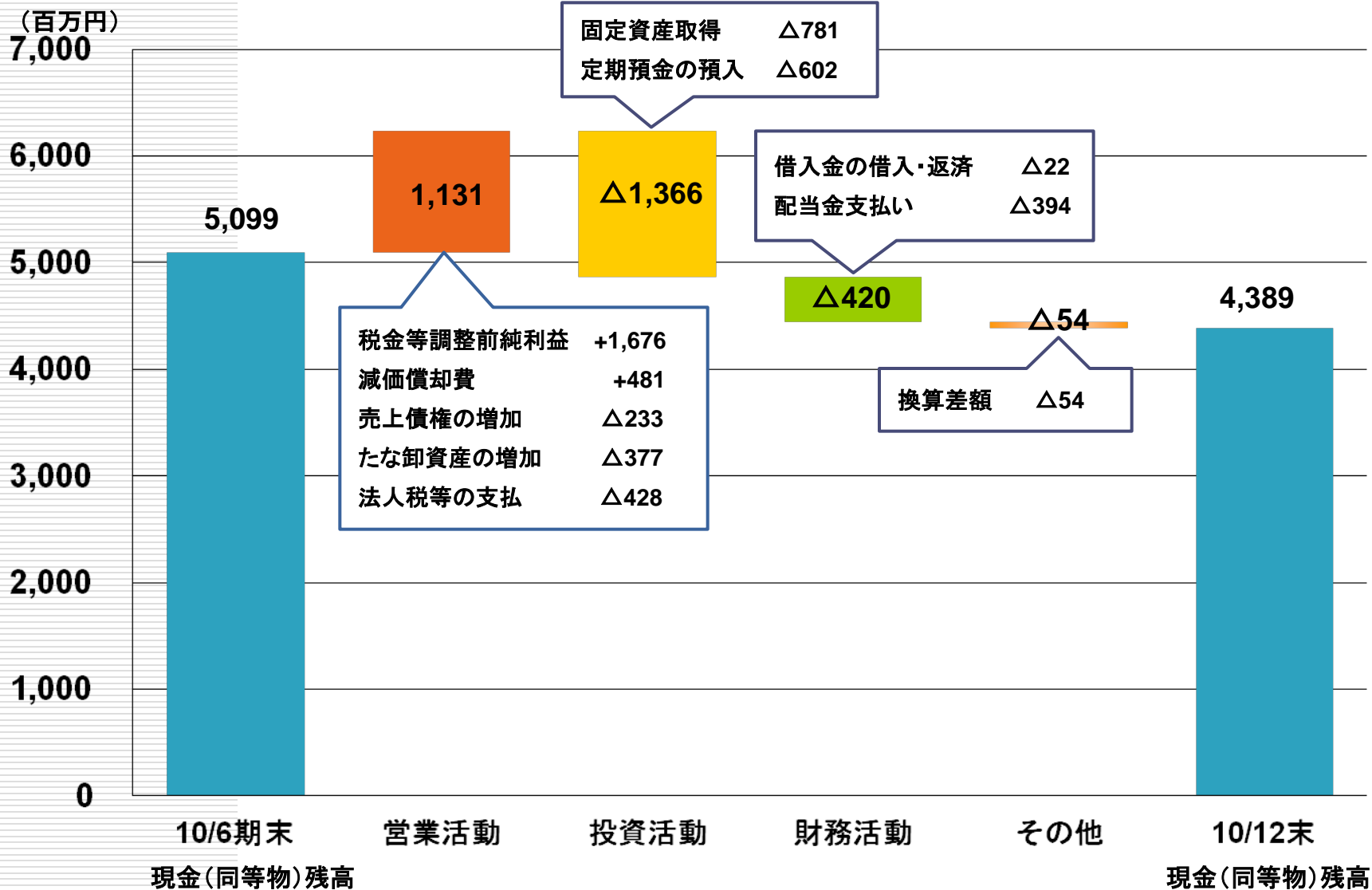
## 財務の状況(連結)

	2010年6月期 実績		2011年6月期 上期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	12,253	55.7	12,672	56.2	+418	売上債権の増加 +159 たな卸資産の増加 +346
固定資産	9,757	44.3	9,870	43.8	+112	新工場建設等による 建設仮勘定の増加 +137
資産合計	22,011	100.0	22,543	100.0	+531	
流動負債	5,245	23.8	4,607	20.4	△638	短期借入金の減少 △325 未払金の減少 △239
固定負債	3,511	16.0	3,883	17.2	+371	長期借入金の増加 +232
負債合計	8,757	39.8	8,491	37.7	△266	
純資産合計	13,253	60.2	14,051	62.3	+798	利益剰余金の増加 +910 為替勘定調整勘定の減少 △149
負債・純資産合計	22,011	100.0	22,543	100.0	+531	





## 連結キャッシュ・フローの状況





## 本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

### 【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>